

## 目標（7）

# みんなでまちをきれいにします



▲高浜中 地域清掃のようす

### I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と力を合わせて環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを、次世代に引き継ぎます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 資源化が進み、ごみの量が減っています。</li> <li>◇ ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。</li> <li>◇ 環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。</li> <li>◇ 地球環境に対する意識が高まっています。</li> </ul>

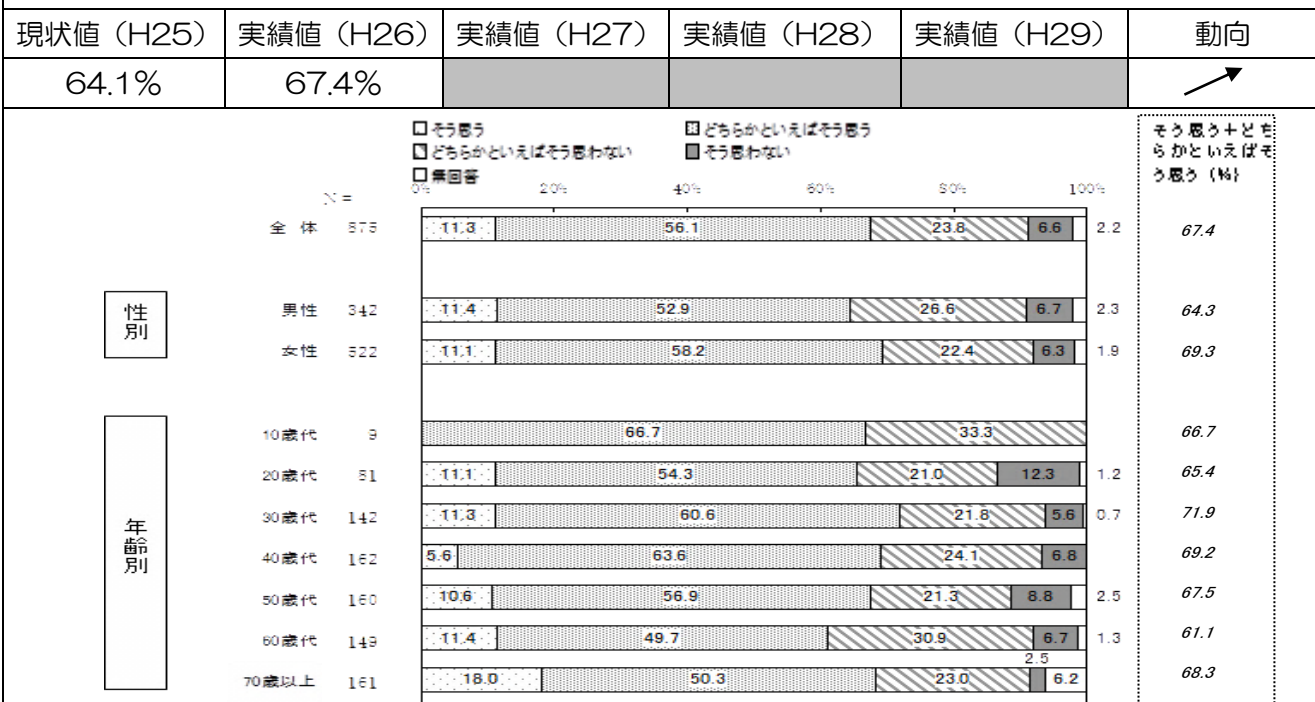
### II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進します。	①市民と行政による「生活環境問題研究会」を発足させた。	H26.6
	②生活環境問題研究会において分別便利帳を作成した。	H27.3
(2) 「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、紙ごみのリサイクルをはじめ、ごみの減量化に取り組みます。	①高浜エコハウスで、粗大ごみの受付を開始した。	H26.5
	②資源化率向上のため、分別収集特別拠点を拡充した。	H26.5
(3) 地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境美化活動、環境保全活動に取り組むこととし、不法投棄対策を積極的に進めます。	①市内小中学校で体験型の環境学習の検討を開始した。	H26.6
	②高浜高校が新たに環境美化推進員に登録された。	H26.11
	③高取小学校が新たに環境美化推進員に登録された。	H26.12

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

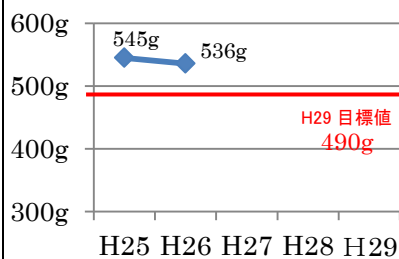
#### 1. 市民意識調査結果

【設問】みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う

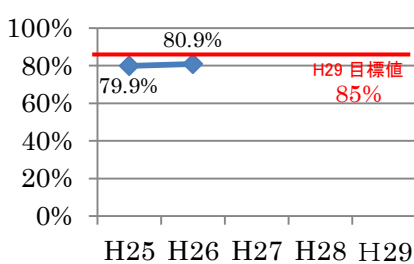


#### 2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

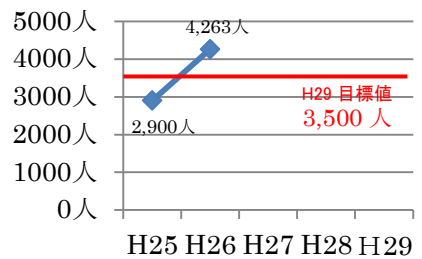
1) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量



2) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合



3) 環境美化推進員の人数



#### 3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析 (要因・課題等)

- 市民意識調査結果は、策定時と比べて3.3%増加している。「みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う」人が増加しており、これまでの活動に加え小中学校への啓発活動により一定の成果があったと考える。
- 指標1)「1人1日あたりの家庭ごみの排出量」については、策定時と比べて9グラムの減少となった。目標値達成のためには、市民、事業者のさらなる協力を求める施策を検討する必要があると考える。
- 指標2)については、策定時と比べて1.0%の増加となっており、依然高い水準で推移しており、分別収集が、当たり前の活動として定着していることが伺える。
- 指標3)「環境美化推進員」については、策定時と比べて1,363人増と大幅な増加となり、目標値を達成することができた。これは、「高浜高校」「高取小学校」が新たに環境美化推進員に登録したことによるものであり、今後も、子どもたちの主体的な活動を支援していくことが必要と考える。

#### IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案）	見直し・改善（案）
<p><b>（１）さらなるごみ減量の取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度からスタートしている「高浜市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」のごみ減量の数値目標達成のために、<u>分別拠点の増設など、さらなる減量化の取組みが必要である。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に実施し、ごみ減量に一定の効果があつた市直営の分別収集特別拠点の効果を検証しながら、<u>民間の収集拠点の活用など、新たな資源回収のあり方や、ごみ袋の有料化、生ごみ堆肥化補助の充実などを進める。</u></li> </ul>	継続
<p><b>（２）町内会が運営する分別収集拠点の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制度開始以来20年以上経過する町内会による分別収集拠点について、人口の増加、町内会加入率、核家族化などの状況の変化に対応し、今後も持続可能な運営方法となるよう検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外の収集方法を参考に、<u>拠点数、収集時間、管理方法、町内会への支援方法など、今後の分別収集のあり方を試行的に実施し、効果のあつたものを順次展開していく。</u></li> </ul>	継続
<p><b>（３）子ども環境美化推進員登録の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続した学習の観点から、<u>画一的な環境学習機会を提供し、子どもたちや各小中学校が企画した学習を支援する必要がある。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>子どもたちや各小中学校が企画した環境学習に対し、環境美化推進員制度を活用し、消耗品等の支援、環境学習施設等への視察などを支援する。</u></li> </ul>	継続

#### V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して
<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみ分別表について、写真での説明は分かりづらいため、プレートの付け方やごみの分別方法を文字で説明するよう、改善を図っていただきたい。</li> </ul>

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

- 環境美化推進員の人数については、例えば学校であれば、児童・生徒全員を推進員としてカウントするのではなく、主に活動する児童・生徒をカウントするべきである。

### Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- ごみの立ち当番をする方が高齢化してきていることに対し、市民の不安の声をよく耳にする。各町によって抱える問題は様々であるため、各町の提案に対して柔軟な対応をお願いしたい。
- 環境美化推進員が大きく増えたことは大変喜ばしいことであり、ごみのポイ捨てが減るなど、目に見える効果を期待している。子どもだけでなく、大人の推進員を増やしていくための働きかけも必要である。

### その他、目標の達成に向けて

- 市民一斉清掃・油ヶ淵浄化デーの実施方法について、道路のゴミや枯草拾い、街路樹の手入れを市民に呼びかけるなど、見直しを図っていただきたい。いずれは市民の大きな輪につながっていくと思われる。